

令和6年度 周南市隣保館運営委員会議事録

- 1 **開催日時** 令和6年7月16日（火）14時～15時15分
- 2 **開催場所** 周南市役所本庁舎シビック交流センター2階交流室1

3 **出席委員**

委員（10名）	磯部会長、水谷副会長 村田委員、山本委員、中村委員、松岡委員、 三浦委員、磯村委員、松本委員、森本委員
事務局（6名）	人権推進課2名、隣保館長4名

4 **開 会**

5 **あいさつ**（人権推進課長）

6 **自己紹介**（委員及び事務局）

7 **会長・副会長の選任**

会長に磯部委員、副会長に水谷委員を選任

8 **議 事**

○「令和5年度事業実績及び令和6年度取組状況について」

会 長：令和5年度事業実績及び令和6年度取組状況について、事務局に説明を求める。

事務局：各隣保館の館長から説明する。

館 長（川崎会館）

1 ページの隣保館運営事業実施計画書は、事業の目的と施設の概況

2 ページは事業別の前年度事業実績と今年度の事業予定

今年度の実施事業は昨年度の実績をベースにしており、大きな違いはない。相談事業は日常生活に関するものがほとんど。クラブ活動は、主にグラウンドゴルフ講習会、書道教室、体操などで、その他の各種団体は、自治会等の集会といきいきサロン。

3 ページは啓発、広報や事業等の活動計画では、広報のために毎月川崎会館だよりを発行。人権スローガンの募集は富田東小学校に夏休みの宿題としてお願いしている。昨年度は1名、優秀賞を受賞。川崎会館まつりは、コロナ禍の影響により4年ぶりの開催。ゲストとして高森チンドン隊にご出演いただき好評だった。今後も持続可能なイベントとなるよう必要に応じて改善を図りながら進めていく。地域交流促進として、5自治会会長が参加する「川崎地区連絡協議会」を年6回開催し、地元の意見を集約して館の運営に反映させることを目的とする。富田川を美しくする会主催の納涼盆踊り大会は4年ぶりに開催した。富田川を美しくする会の活動には積極的に協力していく。施設については、老朽化が進み雨漏りや漏水が発生している。安心・安全に施設を利用してもらうために計画的に修繕・改修を進めていく。

館 長（尚白園）

4 ページ概況では、尚白子育て支援センターとの複合施設。昭和46年開設で、平成17年と令和2年度に大規模改修を実施。建築年としては53年経過。各部屋については建築当時のままで、色々な面で利用者の方に不便をかけている。

5 ページの実績と計画では、相談事業として年3回心配事相談会を開催。市の関係課や包括支援センター等専門の方が相談を受ける。令和5年度の相談業務のほとんどがこれで介護や健康など高齢者の相談が多い。クラブ活動では、教養・知識に関することが10、スポーツが4、合計14が自主講座。講演会は、市主催で地域の方と歌をうたって楽しんでいただく場を提供。講習会は、学習教室として、子ども生け花と英語は市主催。空手、体操、リトミックは自主講座。令和6年度人権研修会は4月、11月に実施。夏休みこども講座は、今宿小を対象に様々な講座を計画している。その他として、館だよりを毎月発行。祭り等は、コロナ前には大規模に実施していたが、地域の方々に相談のうえ大規模なものは難しいということで講座生の作品展を年2回開催。各種団体では、尚白保育園などが利用されている。

6 ページ行事一覧では、館行事は先に述べた通り。館行事以外は、今宿地区自治会総会、コミュニティ推進協議会、自主防災組織、社会福祉協議会、市民センター参画協議会、ブロック人権教育推進協議会等、様々な団体に協力者として参加している。地域の

行事等は市民センターが所管しているが本館も協力し地域づくりに参画している状況。

館長（東福祉館）

7ページの事業目的と施設の概況については、昨年度から計画していた耐震化工事が7月から始まり11月まで工事期間。講座は久米市民センター、久米老人憩の家などの近隣の公共施設や講師が実施している他の講座に移行し、ほとんどの講座が活動を継続。事務所は、館に残り相談業務等を継続。

8ページの事業実績と計画では、蔵書数が約900冊から約500冊に激減。汚損の著しいものや内容の古い図書を処分した。一方、同和問題を語る会の講師として長らくご尽力いただいた松村利男先生から、同和問題をはじめ人権にかかわる図書を約120冊譲渡いただいた。クラブ活動においては、耐震化工事のため前年度より減少が見込まれる。

9ページの行事一覧では、工事のため、夏休みこども塾、講座生の発表会である「ふれあい会」は中止。ふれあい会はコロナ禍に続き5年間実施できていない。令和4年度から、久米市民センターで開催されている「久米地区学習講座発表会」へ、一部の講座生が参加。併設されている児童クラブと地域の方々（東寿会）とのふれあい事業「さつま芋づくり」「資源回収」も中止。畑の管理や資源回収は、地域の方々と共同して作業は継続している。12月に一斉清掃を5年ぶりに開催予定。

館長（高水会館）

10ページは高水会館の概況を記載している。昨年度と変化はない。

11ページ、5年度の実績と6年度の予定を掲げている。クラブ活動のスポーツは卓球。その他のサークル活動では5年度の実施回数306回、4年度226回。コロナの規制対象だった4年度に比べ全体的に実施回数が増加。ほぼコロナ前に戻ったと思われる。

12ページの行事一覧で、特に力を入れているのが人権スローガンの募集。主催は山口県人権対策室。旧熊毛町内の5小学校、1中学校、1高校を対象とし、夏休みにスローガンを募集。5年度は715件の応募をいただいた。その内1件が優秀賞を受賞。夏休みお楽しみ講座は、卓球、絵手紙、手芸などの本館の利用者が講師として、小学生に教える講座。7教室で200名程度の参加をいただいている。

会長：各隣保館の説明があつたが、意見、質問等はないか。

委員：隣保館に勤めていたことがあり、そのことを思い出しながら質問する。併設されている施設もあり、駐車場の利用頻度が多かった。また、駐車場は子どもたちが遊ぶ場でもあり舗装されていない。雨の後は凸凹になって簡易的に土を埋めたりした。これは1つの例だが、各館で利用者の立場から、また運営上で不便と思われることは何か。

館長：川崎会館は、敷地が狭く駐車場が満杯の時は富田川の河川敷を使用してもらうことが時々ある。また、広い部屋が2階にあり、高齢者が多いので不便。2階を使われていたが階段がきついため1階に移られた団体もあった。さらに、洋式トイレの数が少ないこと、男女兼用のトイレがあることなど、ご不便をおかけしているのではと思う。

館長：尚白園は、駐車場が狭く併設の子育て支援センターと半分ずつ使用している。大きな会議や集会の際は隣の公園を駐車場として借りているが、ご不便をおかけしている。また、本館の利用する部屋4つのうち3つが2階にある。高齢の方、足の不自由な方には、ご不便をおかけしている。荷物を持つなどソフト的なフォローはしている。

館長：東福祉館も、本館の貸館施設は全て2階のため高齢者の方に不便をおかけしている。また、児童クラブがグラウンド（駐車場）を利用しており、子どもが遊んでいる時、車が出入りすること。さらに建物の老朽化により建具、ブラインドの開閉が悪くなっているなど、子ども達や利用者にご不便をおかけしていると思う。

館長：高水会館は、毎年年度当初に代表者の方に集まっていただき、館に対する要望、気づきを書いていただいているが、特に意見等は出ていない。駐車場にしても、丁度良い規模だと思われる。建物は古いが冷暖房もちゃんとしている。ただ、冬は寒い。本当に寒い時はエアコンに加えファンヒーターを使用していただいているが、冬は寒いと思われているのではないかと思う。

会長：次に、委員の方からご意見等を伺いたい。川崎会館の方、意見等はないか。

委員：以前館長と話した時、1階1番奥の和室はほとんど使われていないと聞いた。何かうまい活用方法を頭の隅に置き考えてほしい。

また、高水会館の行事一覧の12月に「人権スローガン日めくりカレンダー作成、配布」とある。これは毎年つくり地域に配布しているのか。

館長：毎年作成して、小・中学校に1部ずつと熊毛ブロック人権教育推進協議会委員に

配付している。かなりボリュームがあるものなので地域に配ることはしていない。

会 長：尚白園の方、何か意見等はないか。

委 員：意見ではなく感想だが、昔よりきれいで明るくなった。しかし、お年を召した方が、2階に上がることがネックで「辞めます」と言われたことが残念。自分もいずれそうなるかなと思う。駐車場は凸凹があったが最近整地され、きれいになっている。他館を見ると、どこも人権教育の推進に努め、各学校から夏休みの作品が出ている。カレンダーの話もあり、今宿も頑張らないといけないと思った。

委 員：駐車場の件だが、雨が多い時は砂や泥が道路に出て、その度に掃除をしている。尚白公園の落ち葉や除草等に隣保館の予算はとれるのか。他館も駐車場は舗装されていないと思うがいかがか。

館 長：尚白園の駐車場は今年度入口辺りを舗装する予算を確保した。大規模は難しいが小さな修繕等については要望していき、利用しやすい館を目指す。

会 長：次は東福祉館の方、何か意見等はないか。

委 員：東福祉館は、児童クラブを併設しているので舗装は難しいため、雨が降るとグラウンドが練り上げた状態になる。また、年1回のふれあい会を開催する時は、高田公園を駐車場にしているが、雨の日は、練り上げた状態になり、グランドゴルフのメンバーが整地している。仕方ないとは思いますが、大変困っている。

委 員：高田公園のことだが、グラウンドの整地について、市の方にどうにかならないか、相談したが「お金は出せないが、あなた達が出されるのには口は出さない」と言うことで、老人クラブで大枚を出し整地したことがある。グランドゴルフのメンバーが稽古の前30分くらい環境整備している。雨の日に駐車されると大変だが、みんな奉仕の気持ちで頑張っている。

会 長：次は高水会館の方、何か意見等はないか。

委 員：図書閲覧とあるが、利用するには許可や決まり等はあるのか。また、図書はたくさんあるが、利用者が少ないと感じる。

館 長：高水会館には図書室がある。図書は毎年更新しているものではなく、昔、目的を持ってつくられたものではあるが、古いものが並んでいる。自分の推測だが、利用者の方が持ってこられたものもあるのではと思う。貸し出しにおいては、貸出簿に記入してもらっている。図書を借りることを目的に来られる方はほとんどおられず、ついでに借りて帰られる方が多いと思われる。

会 長：たくさんの意見が出た。特に駐車場に関して各館で工夫されていた。市の方で何かできることはあるか。

課 長：尚白園においては、6年度予算で駐車場の入り口だけではあるが舗装することとしている。予算に限りがあり、約束はできないが、しっかり意見を伺い、要望等に対応していきたい。

会 長：もう1つ、階段を上るのが大変という意見が多かった。市の方で何かできることはあるか。

課 長：エレベータの設置は難しいが、川崎会館で話が出たように、1階で使える部屋を工夫して使っていただけたら良いと思う。足の不自由な方への何らかの配慮が、今後必要になって来るかなと思う。

会 長：老朽化が進んでいるという話があったが、建て替え等の計画はあるか。

課 長：今年度、東福祉館の耐震化工事を行うが、現状ではこれ以外の予定はない。老朽化が進み利用が難しくなった場合は、その都度、近隣の公共施設の利用等も含め、今後の在り方について検討していくことになる。

会 長：高齢だから使えなくなったということではなく、高齢の方が使いやすくなるよう各館で、知恵を出し合い工夫してほしい。

副会長：会長の言われた通り、とりあえずそれしかないと思う。

会 長：今出てきた皆さんの意見を踏まえ、今後の運営等に努めてほしい。

2. その他について、今までの話以外で何かないか。

副会長：各館で防災訓練をされているが、火災を想定したものが1番多いと思われる。南海トラフの巨大地震が起こる可能性が高まっている。かつ、山口県にも活断層が通っており、直下型地震が懸念される。利用者がおられる時間帯に、巨大地震が起きたらどう避難し、命を守るか、各館で利用者の方と話し合い、地震の避難訓練に取り組んでいただきたい。

会 長：館において、地震の時どうしたらよいか、館が中心に利用者を守る方法を検討する必要があるとの意見だと受け取った。学校で行われる避難訓練のようなことが隣保館でできるのか。

館 長：高水会館では、火事発生時の通報、避難、消火の訓練はやっているが、地震を想定した訓練は行っていない。外に避難する訓練はしている。

館 長：尚白園も同様に、火災訓練のみ行っている。地震の際も外に避難する点では同じ形態になるかなと思う。火災訓練の際に地震についても確認したいと思う。

館 長：川崎会館でも、消防訓練のみだが、地震が起こった時、自分の身を守るということが第1であるので、まずは危険な個所はないか確認したいと思う。

館 長：東福祉館でも地震を想定した訓練はしていない。地震が起こった時、1階の講堂は、すぐに屋外に避難できるが、2階を利用されている方に対しては安全を確認の上、館職員が誘導する必要があると思う。

会 長：館として、色々なことに対応しなくてはいけないので大変だと思うが、皆さんが集える場所として、今後もよろしくお願ひしたい。

以上で議事を終了する。